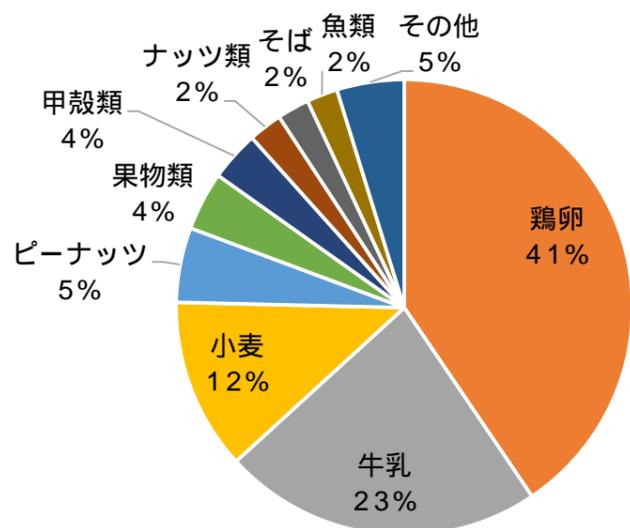


食物アレルギー

食事をした時に身体が食物を異物として認識し、自身の身体を防御するために過敏な反応を起こすことを、食物アレルギーといいます。

【 アレルギーの原因食物 】



今井孝成、ほか、アレルギーより

【 食物アレルギーの年齢分布 】

0歳が34%で最も多く、以降加齢とともに漸減します。
5歳以下で80%、10歳以下で90%を占めます。
このように我が国の即時型食物アレルギーは、乳幼児期に極めて多く発生しているものの、18歳以上にも5%発生しており、注意が必要となります。

どんなことが起きる？

皮膚症状

かゆみ、むくみ
蕁麻疹 発赤 湿疹 など



消化器症状

腹痛、嘔吐、下痢
気持ちが悪い



呼吸器症状

呼吸がしづらい
息苦しさ
喉が締め付けられるような感じ



粘膜症状

くしゃみ 鼻水 目の充血や腫れ
口の中やのどの違和感や腫れ
目がかゆくなる



緊急の対応を

かゆみや湿疹といったアレルギー症状が重症化し、アナフィラキシーショック(呼吸困難や意識の低下などの全身症状)があらわれた場合は、すぐに救急車を呼びましょう。



【参考】アナフィラキシーショックとは、血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態をいいます。



JA熊本厚生連健康管理センター

施設所長 粟津 雄一郎

TEL 096 (328) 1256 FAX 096 (328) 1229